

平成 24 年度 ウトロ海域における取組の進捗状況について

トピック：地域協働型活動の継続のため新たな組織へ

1. 部会では、観光利用と海鳥保全に関する協働型活動を構成員相互で評価し、3 カ年の総括を行った。また、平成 26 年度より実行組織としての連絡会議に移行することを確認した。
2. 本活動の広報用動画コンテンツが新たに 7 本完成し、合計 8 本となる。YouTube に掲載され、今後、観光事業者等多様な主体による発信を行う予定。
3. ウトロ海域における平成 24 年度のケイマフリの確認最大個体数は 140 羽（昨年比－2 羽）、営巣確認数は 46 巣（昨年比＋2 巣）であり、活動開始時に比して回復傾向が見られる。

1. ウトロ海域部会開催と連絡会議への移行準備

- ・平成24年10月23日に平成24年度第2回ウトロ海域部会を開催した。
平成22～24年度の3カ年の事業を振り返り、専門家、観光事業者、漁業協同組合、行政の相互の立場からの評価を行うとともに、次年度以降の活動を協働ですすめるための仕組みづくりについて意見交換を行った。
- ・地域協働型の活動を継続していくことについて確認するとともに、平成26年度以降より実行組織としての連絡会議に移行することとし、平成25年度はその準備を行う期間に位置づけることとした。

2. ケイマフリ個体数は増加傾向—海鳥の生態調査

- ・平成 24 年 4 月から 10 月に海鳥の生態調査を実施した。ケイマフリの数をカウントする海上センサスでのケイマフリの確認最大個体数は 140 羽だった。昨年比－2 羽であるが、活動開始時の 90 羽台に比して回復傾向にある。
- ・ケイマフリ営巣数の確認調査では 46 巣が記録され、昨年比＋2 巣となった。ケイマフリデコイを設置したトークンモイにも 1 巣確認され、今後の回復が期待される。

3. 地域協働型活動の実施

- ・平成 24 年 11 月 6 日に、小型観光船協議会、環境省にてトークンモイ湾に設置されたケイマフリデコイと目印ブイを撤収した。
- ・平成 25 年 2 月に、ホームページ「ケイマフリプロジェクト」に新たな掲載企画を追加。ケイマフリ模型の展示により普及活動を行っているウトロ地域の民宿・旅館を紹介する企画を新たに追加した。（<http://dc.shiretoko-whc.com/keimafuri/wandervogel/index.html>）
- ・平成 25 年 2 月に、普及啓発動画 7 本が完成し、YouTube に掲載・公開した。
- ・観光船「おーろら号・おーろら 2 号」により、6 月から 7 月の運行時に見られる海鳥の観察記録を環境省がデジタルデータに編集し、地図情報として集計した。